

## 令和6年度 指定管理業務 事業評価表

### 1. 評価対象施設

公の施設の名称	四国中央市ケーブルネットワーク施設		
施設所管課	政策 部		情報政策 課
指定管理者名	株式会社四国中央テレビ		
指定期間	令和 3年 4月 1日 ～ 令和 8年 3月 31日		
	4 年目		

評価項目		評価基準	自己 評価	所管 評価
① サービスの 履行の 確認	人員体制	加入者の利便性確保し、人員を適切に配置している。	A	A
		ネットワーク施設責任者としてネットワーク業務全般の統括に専従するものを配置している。	B	B
		勤務形態は、労働基準法等を遵守し、施設の運営に支障がないように行っている。	B	B
		事業計画に即し計画的に研修等を実施している。	B	B
	外部委託	外部委託のある場合には、事前に市の承諾を得ている。	B	B
		外部委託業者に対して協定書等を遵守させている。	B	B
	法令順守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	情報管理	業務で知り得た機密情報を外部へ漏洩、または他の業務に使用していない。	A	A
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じている。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B	B
	《①の総括》		B	B
	指定管理者の 自己評価	定期的にセキュリティ委員会を開催。内部監査も行い社内教育、研修にて各人のセキュリティ知識向上に努めている。また緊急マニュアルに基づき、電源喪失訓練、災害時の避難訓練を定期的実施している。		
	施設所管課の 評価	県内だけでなく、近隣ケーブルテレビ局と連携した取り組みや地震などの大規模災害を想定した防災訓練を生中継するなど、住民の防災意識の向上に貢献している。今後も住民ニーズに沿った取り組みを実施し、更なる利用者拡大に努めていただきたいと思います。		

評価項目		評価基準	自己 評価	所管 評価
② サービスの 質の 評価	施設管理	協定書に従い、休業日、営業時間を適切に運用している。	B	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。	A	A
		施設の目的に添った自主事業を実施している。	B	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	地域住民等との連携	地域や地域住民との連携を深め、協働による事業展開がされている	A	A
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕・工事等を行っている。	A	A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	A
	苦情対応等	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B
	管理目標	設定目標に対する結果は妥当である。	B	B
		設定目標に対する取組は適切である。	B	B
	《②の総括》		B	B
	指定管理者の 自己評価	障害対応時のフローを作成、お客様への告知ルールを取り決めを行っている。起こりうる事態を、同軸回線、光回線に分けて発生規模により告知方法を判断し社員へは各状況を随時情報共有できるよう専用アプリにて展開している。		
	施設所管課の 評価	地域とも連携し新たなサービスを提供をするなど、住民のニーズにあった施設運営に努められています。今後も地域住民のニーズを把握し、より高いサービス水準を実現されることを期待しています。		

評価項目		評価基準	自己 評価	所管 評価
③安定性	経理事務	自治体エリアと3セクエリアの帳簿等を備え適切に経理事務を適切に執行している。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	《③の総括》		B	B
	指定管理者の 自己評価	愛媛CATVと資材等の共同調達を継続してコストダウンを実現し経費削減を推進している。		
	施設所管課の 評価	グループ会社と協力し、経費削減に努められている。様々な手法を駆使し営業展開を図り、利用者の満足度を担保できていた。		
総合評価		①②③を合わせた総合評価	B	B
所見 (成果・課題等)		【自己評価】自治体エリアの光化事業を推進継続しており新宮嶺南エリアは2024年度に完了いたしました。地域に根差したCATVとして様々なサービスを展開し防災、防犯対策へもさらに推進してまいります。また行政と連携して地域課題へ尽力致します。		
		【所管評価】地域情報の発信を担う重要インフラであることから、障害時の対応も迅速に対応されております。利用者の意見を汲み取り新たな手法等を活用しながら企業努力により加入者数の純増による安定した施設管理に努められている。		

【補足資料】

1.加入状況、成果指標等

項 目		R4年度	R5年度	R6年度	備考
種別	コース	2023.3.31現在	2024.3.31現在	2025.3.31現在	
ケーブルテレビ	エコノミー	2,203	2,219	2,230	戸建て+集合
	多チャンネル	443	418	404	
インターネット	ライト	779	589	189	
	ベーシック	287	207	26	
	プレミアム	88	44	6	
	光満足	32	323	859	
	光ハイパー	6	83	134	
	光プレミアム			193	
	防災	122	122	122	
ケーブルプラス電話		1,372	1,404	1,284	
合 計		5,332	5,409	5,447	
加入世帯数		2,914	3,029	3,043	
加入世帯率		72.9%	75.7%	76.1%	

2.指定管理業務にかかる収支状況

区 分		R4年度決算	R5年度決算	R6年度決算	備考
収入計		181,483,051	190,645,854	186,350,258	
	指定管理料	38,845,269	38,840,840	38,985,000	
	加入金	0	0	0	
	利用料収入	136,523,863	135,804,214	132,324,083	
	引込屋内工事	493,504	5,146,049	3,752,789	
	その他	5,620,415	10,854,751	11,288,386	
支出計		181,483,051	190,645,854	186,350,258	
	指定事業費	97,310,703	71,233,992	76,474,598	
	うち人件費	37,703,483	38,017,640	47,043,486	
	運営経費	16,049,456	16,656,567	14,125,462	
	新規発生経費	5,967,901	31,615,853	34,667,958	工事費等
	加入件数経費	36,288,760	36,144,362	34,782,707	回線使用料等
	放送センター賃料	159,594	0	0	
	I R U賃借	3,606,747	3,606,747	3,606,747	
	伝送路等修繕料	8,769,099	12,178,882	14,486,259	
	電気料金	7,667,021	6,879,261	7,487,804	
	施設改修	0	7,464,271	718,723	
	施設機器購入	5,663,770	4,865,919	0	

各項目の評価基準（例）※施設の特性等に応じて基準を決定してください。

区分	項目評価	基準
評価基準	A (優良)	事業計画を上回っている 期待する水準を上回っている 達成度イメージ : 110%以上
	B (良好)	ほぼ事業計画どおりである ほぼ期待する水準どおりである 達成度イメージ : 90%以上～110%未満
	C (一部良好でない)	一部を除き、事業計画どおりである 一部を除き、期待する水準どおりである 達成度イメージ : 70%以上～90%未満
	D (良好でない)	事業計画を大幅に下回っている 期待する水準に達していない 達成度イメージ : 70%未満
総括	A (優良)	評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である
	B (良好)	評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である
	C (一部良好でない)	評価基準がすべてC以上である
	D (良好でない)	評価基準にDが含まれている
総合評価	A (優良)	評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である
	B (良好)	評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である
	C (一部良好でない)	評価基準がすべてC以上である
	D (良好でない)	評価基準にDが含まれている